



● 新年のごあいさつ

● 安全衛生大会盛大に開催

● 世界の京都・まち美化市民総行動

↳ ボランティア活動に参加しました。↳

CLEAN CREW



公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会によせて

京都府知事 山田 啓二

協会の会員、役員、職員の皆様、あけましておめでとうございます。

貴協会におかれましては、平素より、府の健康福祉行政の推進に格別の御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は、3月11日に発生した東日本大震災やそれに端を発した福島第一原子力発電所事故による放射能汚染の問題などが発生し、また、急激な円高水準による経済・雇用情勢のさらなる悪化の懸念など混迷の時代を迎え、まさに試練の年でした。

貴協会は、昨年4月11日に公益社団法人として新たなスタートを切られて以降、建築物の維持管理技術の向上等に務められるだけでなく、東日

本大震災の被災者にいち早く支援物資を送られるとともに、次世代を担う小学生を対象に「小学校清掃講習会」を開催され、また、「ふれあい・心のステーション～自立と社会参加を目指して～」と題して、府内の特別支援学校生徒に御支援いただき自立のすばらしさを教示いただき、更に、本年2月に開催されます「第9回アビリンピック京都大会」の参加者に対して、練習会を実施されるなど各種の公益事業を積極的に展開されているところであります。

京都府といたしましても、昨年開催しました国民文化祭で培われた「絆」をしっかりとつなぎ、今こそお互いが思いやりの「こころ」を寄せ合い、支え



合う社会を築く年にしたいと心から思っております。

貴協会におかれましても、昨年以上に飛躍され、貴協会のスローガンであります「次世代に美しい地球環境を」を実現すべく積極的に事業展開され、日本の業界を先導する協会となられることを切に望みます。

この一年の、貴協会の皆様方の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

公益社団法人
京都ビルメンテナンス協会 会長 植西 雅史

皆様には穏やかに初春を迎えられたことと拝察し、謹んでご挨拶を申し上げます。

日ごろは協会運営に一方ならぬご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は3月11日の東日本大震災・大津波・原発被害、また8月～9月にかけて台風12号と15号の豪雨被害と、日本各地で未曾有の災害に見舞われた年でした。

そのような中、当協会は半年前から申請しておりました公益社団法人への移行が4月11日付けで認定されました。これもひとえに関係各位のご尽力ご指導の賜物であると衷心より感謝申し上げます。

京都協会は、ビルメンテナンス業界の中では全国4番目に移行できましたが、その後も福井県・栃木県と相次いで公益社団法人の認定を受けられました。

今後もその数は増えると思われませんが、この様な時こそ全体で力を合わせ、より一層日本中に公益性の強いネットワークが広がることを期待しております。

本年も、従前から培ってきた公益性の高い事業によりいっそう磨きをかけつつ専門的な技術や知識向上のための総合的な研究など、社会貢献を中心に活動してまいります。

さらに、建築物機能の維持管理を通じ、広く一般に公衆衛生の向上を



図る情報を発信するなど、多数の方が利用するビルの衛生的環境確保を期して、お役に立つことが出来ればと考えております。

最後に、世界各国の諸情勢の影響が一気に地球を駆け巡る時代、一致団結して諸問題に取り組み、皆様とともに輝かしい年になることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。がんばろう日本!

念ずれば花開く！ 50年、100年先も輝き続ける京都へ

京都市長 門川 大作

新年おめでとうございます。皆様の御多幸を心からお祈り致します。

未来を担う若い方に私はよくこんな話をします。「今」を大切にしてほしい。生きることは「今」の連続です。「今」に「心する」と書いて「念」。今を無意味に過ごせば「無念」に、心しても動かなかつたら「残念」になる。「念ずれば花開く」。目標を見据えて、今を大事に努力し続けていれば必ず道は拓かれる…と。

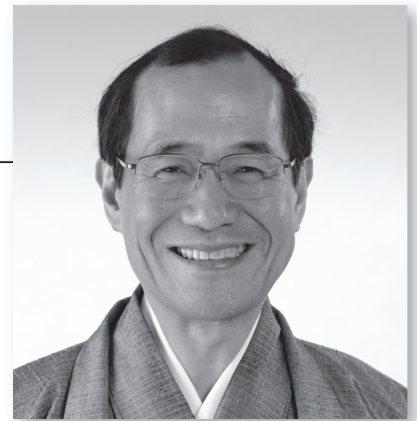
市長就任以来4年、その言葉を私自身もしっかりと心に刻み、現地・現場主義に徹し、市民活動の場、市政の第一線など、3,000を超える箇所を駆け回り、現実を直視し、多くの方々と語り合い、市政改革を進めて参りました。

この4年間、戦後最長の景気拡大期から一転して「百年に一度」の金融経済危機。地方交付税大幅削減と過去最大の税収減等による本市財政の逼迫。新型インフルエンザ、東日本

大震災…と深刻な事態が立て続けに起こりました。

大変な困難の連続でしたが、市民の皆様と危機感や責任感、夢と目標を共有して、果敢に取り組み、市の財政赤字を黒字に転換。また、地下鉄の経営改善も大きく前進しました。ごみの量もピーク時の6割にまで削減。保育所の入所児童を2千人増加。中小企業への新規融資枠を当初800億円から2,500億円に拡大など、財政問題や福祉、教育、環境、経済、文化、将来を展望したまちづくり、防災など市政の各分野で、着実な取組と成果を、市民の皆様と共有することができました。

まだまだ課題は山積し財政も厳しい状況ですが、私は確信しています。あらゆる京都の知恵と力を結集すれば、どんな困難をも乗り越えられる。そして、京都の生き方、暮らし方、まちづくりが、新しい時代のモデルになると。



本年も、市の基本計画「はばたけ未来へ!京プラン」の下、市民の皆様と共に汗する「共汗」、市会の先生方との緊密な連携、府市協調、これらを礎にして、50年後、100年後も「日本に京都があってよかった」「京都に住んでよかった」「京都で子育てしてよかった」と実感していただける、魅力溢れるまちづくりに全力投球して参ります。

本年もよろしくお願い致します。



安全衛生大会開催

10月5日(水) 京都テルサ大ホール

平成23年度10月5日(水)公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会主催の安全衛生大会が、「京都テルサ大ホール」にて、開催されました。

職場の安全と健康を守るために、毎年この季節に行われる大会に、200名以上の参加がありました。

主催者挨拶のもと、特別講習に、京都労働局 杉本課長様より、「労働災害防止対策等について」、京都府警本部 交通企画課の担当者様より、「交通事故防止等について」の講

習が行われました。

また、比叡山麓 三宝庭 住職 栢木寛照様をお招きし、「安全衛生について」の特別講演は、持ち前の毒舌と教養を上手く笑いに結びつけるお話をされ、会場の賑いも一層盛り上がった後、参加者全員で安全宣言を読み上げ、閉会に至りました。最後に安全標語 優秀作品(3作品)の表彰と、例年恒例とな

る抽選会と続き、盛大な安全衛生大会となりました。



【世界の京都・まち美化市民総行動】

～ボランティア活動に参加しました。～

11月6日(日) 10:00~12:00 京都市役所前広場

去る11月6日(日)午前10時より京都市主催の「世界の京都・まち美化市民総行動」ボランティア活動が開催され、今回はブース出展以外に、清掃活動のボランティアにも参加すべく、協会の皆様にも参加希望を募ったところ、小雨降る中にもかかわらず沢山の会員の皆様に参加して頂きました。

当日9時ごろには京都市役所前広場にて、当協会を含め9つの出展ブースがあり、それぞれまち美化活動や環境問題についての取り組み等をPRしておりました。



広場内には、小学生からご年配の方まで、溢れかえる程の参加者の方々が支給された帽子をかぶり、オープニングセレモニーを待っておりました。

10時オープニングセレモニーが始まり、初めに主催者の門川京都市長の挨拶がありました。

「相田みつをさんは、こう言いました。『美しいと思う心が美しい』私はこのように思います。『京都のまちを美しくしようとするあなたの笑顔が美しい』』言葉のはじまりに今話題の人でもある、相田みつをさんの名言を参考にした挨拶で周囲を和ませる始まりが印象的でした。

続いて来賓者の挨拶があり、京都市内の街中や商店街内等に設置しているゴミ箱に分別用のピクトグラムを作成した「京都光華女子大学環境ボランティアサークル」にグリーンキーパーの感謝状が贈呈されました。

10時30分、いよいよまち美化活動スタート。東大路通りから烏丸通りと四条から丸太町までを20コースに配分し、20班に別れ、班ごとに粗ゴミ拾いをそれぞれに実施しました。

各コースを京都光華女子大学環境ボランティアサークルの学生の皆さんに指揮していただきながら当協会の参加者は木屋町通りから烏丸通りと、御池通りから四条通りまでを担当しました。

秋も徐々に深まる京都の街並みでは落ち葉が目立ちはしたものの、さすが京都と思えるほど見事に粗ゴミは無かった事に感心し、コース内のグリーンキーパーのピクトグラムを確認したりと、楽しみながら80名もの参加者の皆様と共に作業を行いました。

活動が終わり、参加者の方々は各出展ブースを廻り、記念品を受け取るなどで賑わっていました。当協会ブースでも、6社からサンプル提供に御協力頂き、清掃用具や環境に優しい洗剤等のサンプルを配布いたしました。

今回ご協力頂きました関係者の皆様、ありがとうございました。また、参加されました皆様、お疲れ様でした。

防除作業従事者研修会開催

平成23年11月10日(木)京都府中小企業会館にて、防除作業従事者研修会が開催されました。(受講者25名)

厚生労働大臣の登録団体である公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会と 社団法人 滋賀ビルメンテナンス協会の協力で、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」における建築物ねずみ昆虫等防除作業の登録要件として定められた研修会が行われました。

最近では、環境を破壊する恐れのある様々な薬剤の種類とその使用用途によって、害虫駆除が環境に与える

大きな影響の問題が、業界内でも重要な問題となっています。研修会では、防除作業の安全管理はもとより、知識的にも経験豊富な講師の講座が行われました。

午前8:50開講挨拶(京都協会 植西会長)に始まり、午前9:00よりカリキュラムに沿って、午前の部を3名の講師が、午後の部は17:20まで4名の講師の方々より、充実した講習が行われました。閉講挨拶

(滋賀協会 井元会長)をもって、毎年行われる研修会が終わりました。



第16回 全国ビルメンテナンス青年部 『全国大会 IN 鳥取』



去る11月10日、水木しげるゆかりの地、鳥取県は境港市にあります「夢みなとタワー」の会場にて、「第16回全国ビルメンテナンス青年部『全国大会 IN 鳥取』」が開催されました。

今大会では、《絆》をスローガンに「世界の発展のため若い力を合わせよう」、そして「被災から皆でちからを合わせ復興しよう」と言う思いで開催され、全国から95名もの青年部会員が参加しました。

当協会青年部からも渡守部会長を

始め6名が参加し、前年度開催県としては参加人数が少なく、少し残念ではありましたが多くの方と親睦を深め、意見交換が計れた大会となりました。

また、(株)アイズ 取締役統括マネージャー 佐々木 知信氏による、“鳥取県境港市「水木しげるロードより」まちづくりにおける官・民それぞれの取り組みについて”の講演があり、官・民の共同のまちづくりに必要な物は何か。それは、互いの役割を理解しあう事であり、民間の企業も地域をマネー

ジメントしていくという考え方を持つ事で業界としての発展も進めていけるのではと、示唆して頂きました。鳥取県協会青年部の趣向を感じることでできる全国大会であったと共に、当協会青年部会としての取り組みを改めて考え直す機会を頂けた大会となりました。

平成23年度 KBMA 研修旅行と 第12回チャリティーゴルフコンペ

平成23年10月18日(火)・19日(水)、一泊二日の予定にて、公益社団法人として初めての研修旅行及び、チャリティーゴルフコンペが31名参加の中、挙行されました。

一日目は、世界文化遺産である天空の白鷺「姫路城」にて、五十年に一度の大修理を大天守閣の間近で、大屋根や漆喰壁の保存修理作業を見学し、伝統工法による職人技を堪能しました。姫路城を後にして、「灘菊酒造」では酒蔵見学と昼食、そして「ヤマサ蒲鉾夢鮮館」でお土産を購入後、一路、姫路ゆめさき川温泉「夢乃井」に向かい、宿の露天風呂にて、一日の疲れを癒しました。

二日目は、観光組とゴルフ組に分かれ、ゴルフ組は朝早くからゴルフ場に向かわれ、第12回チャリティーゴルフコンペが、植西会長の挨拶の後、秋晴れのもと、スタートしました。観光組の方は、朝食をゆっくりとられ、先ずは、日生漁港「五味の市」を見学、岡山ブルーラインを経て、日本のエーゲ海と言われる「牛窓」に到着。地元のボランティアおばさんの案内で、県の指定文化財「だんじり」(龍や獅子を彫刻した船形)を見させて頂き、その迫力、



技巧の精密さに感嘆しきりでした。昼食は、白い館のホテル「リマーニ」にて、海を眺めながらリッチな気分での食事。昔の伝統を守りながらも、地中海リゾートを味わえる不思議な町「牛窓」は☆二つの評価でした。

午後4時、ゴルフ組と合流、一路、京都へとバスは走り、車中では、ゴルフコンペの結果発表が行われ、山元

総務厚生委員長より「皆様のご協力により、チャリティー基金として51,000円が集まりました」とのお礼報告がありました。研修会・チャリティーコンペ・観光と二日間、有意義な旅行を企画いただきました総務厚生委員会の皆様、ありがとうございました。

記事：広報委員会

<ゴルフコンペ結果発表>

		OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
優勝	長谷川 守氏(ジャパンファシリティーズ)	48	48	96	24.0	72.0
2位	野口 一夫氏(トータルプランニング・エヌ)	39	42	81	8.4	72.6
3位	川端 章弘氏(関西明装)	43	50	93	20.4	72.6
BB賞	長谷川 晃弘氏(装栄)	60	56	116	28.8	87.2

我が社の 取り組み

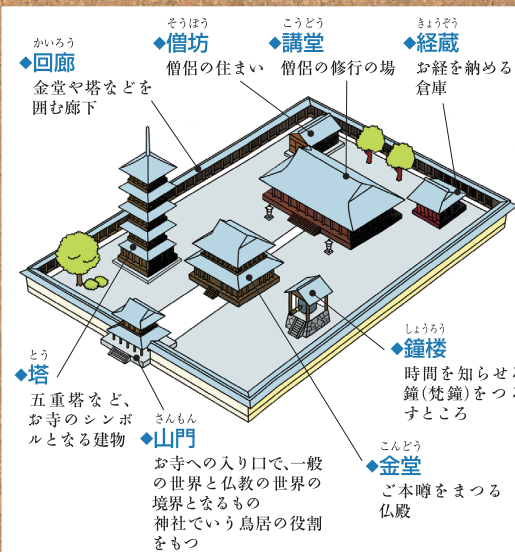
株式会社 丸起

平素はひとかたならぬご厚情にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて今回、京都ビルメンテナンス協会の末席に加えていただきますことを非常にうれしく思い、ご推薦を頂きました和光建物総合管理株式会社矢口様をはじめ、今回快く受け入れて頂きました協会員の皆様方にも、深く御礼を申し上げます。

弊社が誕生した平成6年当時は京都ビルメンテナンス協

会に加入するなど、夢のまた夢でありました。本協会の一員になることで京都ビルメンテナンス協会の名を汚さぬよう、誠心誠意勤めさせていただきますので、諸先輩の皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



*七堂伽藍の建物の呼び名は、仏教の宗派によって違いがあります。

伽藍とは「僧侶が集まって修行する清浄な場所」のことです。山門・金堂・塔・講堂・僧坊・食堂・鐘楼・回廊などを合わせて七堂伽藍といいますが、この他にも経典を納める経蔵・浴室や東司(トイレ)お事などの建物も七堂伽藍の一つに数えることがあります。「七堂」とは、実際に建物が七つあるという意味ではないのです。

② 七堂伽藍とは？

伽藍といえは五重塔を思い浮かべる人は多いでしょう。お寺はいくつかの建物からできていて、その種類はお寺によって様々です。基本となるのは「七堂(しちどう)伽藍(がらん)」とよばれる建物ですが、七堂伽藍がすべてそろっているのは大きなお寺だけで、本堂と鐘楼(しょうろう)だけというお寺も少なくありません。

① 《お寺の中を見てみましょう》 お寺にあるものって？



KBMA Information [1月から3月の予定]

【総務厚生委員会】

- ・1月6日 新年賀詞交歓会 **予定**
- ・3月1日 予算総会 **予定**

【広報委員会】

- ・1月1日 KBMAニュースVol.56(冬号) 発行 **予定**

【公益事業委員会】

■ビルクリーニング基礎講座・中級

- ・平成24年1月12日(第113回)
- ・1月16日(第114回) ・1月19日(第115回)
- 開催場所上記何れも、京都府中小企業会館801会議室

■アビリンピック京都大会練習会

- ・平成24年1月19日 ・2月2日

■貯水槽清掃作業従事者研修

- ・平成24年1月26日
- 京都府中小企業会館大ホール

■清掃従事者研修

- ・平成24年2月1日
- 京都府中小企業会館 802会議室

会員の変更事項

【正会員】

●代表者変更

- 大光建物保全 株式会社
代表者/萩原 淳(平成23年10月5日変更)
- 協栄ビル管理 株式会社
代表者/中山 健二(平成23年10月28日変更)

【賛助会員】

●代表者変更

- 村上紙業(株)
代表者/村上洋一郎

表彰事項

- 厚生労働大臣表彰/花田 之宏
- 全協表彰/河本 豊
- 緑十字/山本 伸二
- ビル管理教育センター会長表彰/河合 吉彦

※KBMAニュースNo.55号「ビルメンテナンス科入校式」来賓名簿に誤りがございました。

誤り

落合 吉彦(公社)京都ビルメンテナンス協会公益事業副委員長

正しくは

河合 吉彦(公社)京都ビルメンテナンス協会公益事業副委員長です。

大変失礼しました。訂正とお詫び申し上げます。

KBMA 京都ビルメンニュース

第56号(2012年冬号)

Kyoto Building Maintenance Association News

編集人:広報委員会 発行人:植西雅史
発行所:公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
〒615-0042
京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館6F
TEL:075-314-8021 FAX:075-314-3860
ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>

ビルメンテナンスのプロ集団に仲間入りしませんか？

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。
詳しくはホームページ「(公社)京都ビルメンテナンス協会検索」をご覧ください。